

主人公健司の故郷

癌で余命が短いことを知った
健司が故郷の墓を整備する

大聖寺〔美作市〕

738（天平10）年に聖武天皇の勅命を受けて行基が開山。その後、真言密教の道場として多くの人々の信仰を集めてきた。

花と緑の聖地としても愛される同寺の境内は、全域が岡山県郷土自然保護地域に指定されている。四季のうつろいを咲き誇る花々で感じることができ、アジサイの時期はとりわけ多くの参拝客が訪れる。約6000株が群生する「あじさい園」が一番の見どころ。

また、吉川英治作『宮本武蔵』の舞台となったことでも有名で、吉川は同寺に滞在して構想を練った。

「神社仏閣を巡る まいられえ岡山」パンフレットより

岡山県の北東、鳥取県へ通じる県道からそれた山の集落、そこが私の生地作東町大聖寺だった。海拔三百二十メートルほどの小高い山の上に広がる起伏した台地。そこに二十戸あまりの家屋が点在している。山の東側を下れば兵庫県、西へ下って県道を吉野川に沿って六キロほど北上すれば、吉川英治の『宮本武蔵』の舞台になる集落に至る。

ここには大聖寺と法輪寺の二つの寺がある。吉川英治は大聖寺を宿にして『宮本武蔵』の構想を練ったという。大聖寺の蓮池と池の傍の二本の大銀杏は今も私の記憶にある。

